

フルLED化された、ニュース・制作・バーチャルの3運用形態スタジオ



長崎文化放送株式会社様 ニューススタジオフルLED化リニューアル

LED照明器具導入で実現
既設器具と比べて...

消費電力 約64%削減

年間CO₂排出量^{※1} 約4.6t削減^{※3}
(ブナの木で約415本の年間CO₂吸収量相当)^{※2}

- ※1 CO₂排出量は消費電力量に排出係数0.43kg-CO₂/kWhを乗じて算出しています。
経済産業省「産業構造審議会環境部会地球小委員会資源・エネルギーワーキンググループ(2009年度)」に基づいています。
- ※2 1本のブナの木が1年間に吸収するCO₂を約11kgとして算出しています。
- ※3 1日3時間、年間365日使用したときで算出しています。



「バーチャル画像の
違和感が減りました」

長崎文化放送株式会社
技術局 技術部 副部長 宮崎 直樹 様



スタジオ全景(ニューススタジオ時)

Q このスタジオの特徴は？

ニューススタジオ、制作番組スタジオ、バーチャルスタジオとしての3形態での運用をしています。

Q LEDスポットライト導入の経緯は？

ちょうど既存設備の更新時期でしたので、節電対策としてLEDの導入を考えていました。フルLEDスタジオを考えたときに、スタジオ用LED照明器具のラインナップが多く、LEDに対しての先行イメージがあった東芝の器具を導入しました。

Q このスタジオでは、すべてのあかりをLEDで作っていますが...

ニューススタジオ運用時は商品撮影もしていますが、色味の再現性も良く、LEDのあかりの質は問題ありません。バーチャルスタジオ運用時は、クロマキーの抜けが良くなり、立体感が出るようになりました。特にバーチャル運用時は、LEDフラッドライトの光が均一にあたり、人物と幕との違和感がないように感じます。

Q 従来のハロゲン器具との違いを感じますか？

スタジオ内の照明器具の管理の面からいえば、電球交換等が無くなったことで、とても楽になりました。ハロゲンと比べて、室温はあきらかに下がっています。

Q 省エネ効果を感じられますか？

空調の効きが良くなって、スタジオ内が寒いくらいです。節電効果を肌で感じます(笑)
従来のハロゲン器具より台数を減らせて運用できていますので、LEDにしたことでの省エネと台数削減もでき、ダブルで節電できていると感じています。

Q 設備もリニューアルされましたが、運用面での変化はありますか？

番組ごとのあかりをメモリーしておくので、運用時、叩ひとつで再生できるようになり、一助となっています。また、今までは、サブ内壁面に操作器を設置していましたが、可搬型に変えてスタジオ内でも使えるようになったので、あかり修正が楽になりました。

Q これからのLEDに期待されることは？

器具の重量と価格が軽くなるといいですね。



スタジオ全景(バーチャルスタジオ時)



LED照明器具

【システム概要】

| | | | |
|---------|--------------------|---------------------------|-----|
| ■スタジオ広さ | 約 75m ² | | |
| ■スタジオ高さ | 天井まで約3.6m | グリットパイプ下まで約3m | |
| ■機器仕様 | ●照明分電盤 | | 1式 |
| | ●調光操作卓 | フェーダボックス AL-TRDM-18 | 1式 |
| | ●照明設備 | LEDスポットライト AL-LED-FS-10 | 7台 |
| | | LEDスポットライト AL-LED-FS-6-2 | 6台 |
| | | LEDフラッドライト AL-LED-FD-10 | 20台 |
| | | LEDベースライト LEDT-56021W-LD9 | 4台 |
| | | LEDミニライティングキット AL-LED-MLK | 1式 |